

石原 美和 (大学院保健福祉学研究科)

1 著書

- 1) 深井喜代子, 前田ひとみ編集, 石原美和他 (分担執筆). (2023.8) .基礎看護学テキスト改訂第3版. 看護政策・意思決定支援・SDGs. 南江堂.
- 2) 石原美和, 前田光哉. (2023.11) .新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度④関係法規. 人間の生活と法律、健康支援に関する法規、健康支援に関する法規の分類、看護師等の人材確保の促進に関する法律等. メジカルフレンド社.

2 学術論文

- 1) Miwa Ishihara, Sanae Matsunaga, Rubana Islam, Ogusa Shibata, Ung-il Chung. (2023.8) . A Policy overview of Japan's progress on dementia care in a superaged society and future challenges. Global Health and Medicine Vol6(1) 13-18.
- 2) 作田竜一, 庄司真樹, 木村眞子, 橋本陽介, 石原美和. (2023.12) .重度身体障害者が ICT を在宅で活用した農業就労によるノウフク JAS の 認証取得の可能性と課題. フードシステム研究 30(3) 118-124.

3 その他の著作

- 1) 石原美和, 阿部理絵. (2023) . 教員がホンネで教える 楽しい!生かせる!セカンドレベル受講のコツ 楽しむためには準備が大事. 月刊ナースマネージャー, 日総研出版, 25(2), p49-53.
- 2) 阿部理絵, 石原美和, 佐藤陽子. (2023) . 教員がホンネで教える 楽しい!活かせる!セカンドレベル受講のコツ 大変だけれど、一人じゃない. 月刊ナースマネージャー, 日総研出版, 25(3), p55-60.
- 3) 石原美和, 佐藤陽子. (2023) .教員がホンネで教える 楽しい!活かせる!セカンドレベル受講のコツ(第3回)(最終回) 学びを現場に還元する. 月刊ナースマネージャー, 日総研出版, 25(4), p77-82.
- 4) 石原美和. (2023) .【多職種連携で進める地域包括ケアシステムと看護部としての役割】 3 階段で進める看護部長の地域包括ケアシステムへの参画手順. 看護部長通信, 日総研出版, 21(4), p68-74.
- 5) 藤谷順子, 石原美和他. (2024) . 厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業 非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究 令和5年度統括・分担研究報告書.
- 6) 藤谷順子,石原美和他. (2024) .厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業 非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究 令和3～5年度総合研究報告書.
- 7) 石原美和. (2023.4.6) . 東京財団政策研究所 Review なるほど訪問看護 ～訪問看護の成り立ちと訪問看護のできることに～. 東京財団政策研究所 HP. <https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4226>
- 8) 石原美和. (2023.6.15) .東京財団政策研究所 Review 「看護がつながり医療とくらし」研究報告(第2回) 訪問看護の現状と課題 インタビューで見えてきたこと.東京財団政策

- 研究所 HP. <https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4291>
- 9) 石原美和, 大場紅莉. (2023.9.8) .第5回日本在宅医療連合学会大会 笹川保健財団スポンサードシンポジウム「在宅看護の不都合な真実」への参加レポート.東京財団政策研究所 HP. <https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4341>
 - 10) 石原美和, 七尾清. (2023.8.31) .東京財団政策研究所 Review 在宅医療に先駆的に取り組む東京都武蔵野市における訪問看護支援事業について聞く.東京財団政策研究所 HP. <https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4333>
 - 11) 七尾清, 石原美和. (2024.2.27) .東京財団政策研究所 Review 急性期病院で在宅看護の人材育成に取り組む角田直枝氏に聞く.東京財団政策研究所 HP. <https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4436>
 - 12) 石原美和. (2024). 【開催報告】ウェビナー「あなたが最期を迎えるなら、自宅がよいですか？病院がよいですか？～看護がつなぐ医療と暮らし～」.東京財団政策研究所 HP. <https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4441>
 - 13) 石原美和, 松永早苗. (2024). 東京財団政策研究所 Review 「看護がつなぐ医療と暮らし 在宅看護サービスへのアクセシビリティ向上のための政策研究報告書」.東京財団政策研究所 HP. <https://www.tkfd.or.jp/research/detail.php?id=4481>

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県 健康医療局医療課, 看護職員の確保資質向上推進委員会 委員,2021.8～2023.7.
- 2) 神奈川県 健康医療局 保健医療部 健康増進課, 保健師人材養成・確保に関する検討作業委員 委員長,2022.1～2023.7.
- 3) 東京財団政策研究所「看護がつなぐ医療と暮らし」研究主幹, 2022.7～2024.3.
- 4) 国立研究開発法人国立国際医療開発研究センター, エイズ治療・研究開発センターにおける客員研究員, 2021.4～2024.3.
- 5) 公益財団法人 エイズ予防財団「エイズ対策政策研究推進事業」委員,2023.4～2026.3.
- 6) 一般社団法人 医療介護福祉政策研究フォーラム「今後のユニットケアを考える検討会」委員,2023.5～2024.3.
- 7) 株式会社日本能率協会総合研究所 令和5年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「特別養護老人ホームの配置医師と協力医療機関の連携体制や役割分担に関する調査研究事業」アドバイザリーボード委員,2023.7～2024.3.
- 8) 一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協議会・医療経済研究機構, 厚生労働省令和5年老人保健健康増進事業「介護保険事業計画の作成における課題と対応状況を踏まえたPDCAサイクルの推進に資する調査研究事業」,2023.7～2024.3.
- 9) 一般社団法人 日本看護管理学会 評議員,2022.10～2025.3.
- 10) 一般社団法人 日本看護管理学会 倫理委員会委員,2023.4～2025.3.
- 11) 日本地域活性学会 第8期理事及び本部理事,2023.9～2025.9.
- 12) 日本エイズ学会 エイズ対策研究推進事業運営委員,2023.4～2024.3.
- 13) 看護経済政策研究学会 第14回学術集会会長,2023.11～2024.10.
- 14) 日本看護科学学会 第44回日本看護科学学会学術集会企画委員 プログラム担当, 2023.12～2024.12.

5 社会貢献

- 1) 日本赤十字北海道看護大学大学院 博士前期課程 「看護政策論」非常勤講師 10 コマ, 2023.10～2024.3.
- 2) 日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科 博士前期課程 「看護政策論」非常勤講師 1 コマ, 2021.12～2025.1.
- 3) 西武文理大学 看護学部 「看護管理論」非常勤講師 8 コマ, 2023.4～9.
- 4) 第 84 回日本看護学会へのサードレベル卒学生の発表指導 2 演題, 2023.10.29.)

6 講演, 放送

- 1) 石原美和, 徳永幸之. 学内研究発表会「都道府県から市町村への指定監督の移行—地域密着型サービスへの移行が地域の看護事業所の運営に与える影響」.2023.8.8.
- 2) 日本経済新聞(朝刊)取材記事「看護師の確保、西日本が先手 訪問対応の人材育成にも力 データで読む地域再生」.2023.9.15.
- 3) 石原美和, 松永早苗, 柴田三奈子, 前村聡. 東京財団政策研究所ウェビナー「あなたが最期を迎えるなら、自宅が良いですか?病院が良いですか?～看護がつなぐ医療と暮らし～」.2024.1.18.

7 学会等での活動

- 1) 喜多悦子, 石原美和, 大久保智代, 片岡今日子, 川越厚. (2023.6.25) . 「在宅看護の不都合な真実」.公益財団法人笹川保健財団 日本在宅医療連合学会大会. スポンサーシップポジウム,座長.
- 2) 石原美和, 寺岡征太郎, 福本京子. (2023.8.25) .指定インフォメーションエクステンジ 倫理委員会企画「転倒転落予防を目的として身体抑制等の在り方について考える」.第 27 回日本看護管理学会学術集会,座長.
- 3) 石原美和, 橋本敬史, 徳永幸之. (2023.9.2) . 「都道府県から市町村への指定監督の移行 地域密着型サービスへの移行が地域の看護事業所の運営に与える影響」.第 26 回日本地域看護学会学術集会, (示説) .
- 4) 松永早苗, 渡邊千登世, 石原美和. (2023.9.24) . 「病院から地域へ在宅看護サービスのアクセシビリティ向上要素を探求する調査」.日本ソーシャル・イノベーション学会第 5 回年次大会, 学会発表 (示説).
- 5) 石原美和, 佐藤直子. (2023.11.9) . 「認定看護管理者サードレベル教育課程における政策提言能力向上のための演習プログラムの検討」.第 54 回日本看護学会学術集会, 学会発表 (口頭発表) .
- 6) 我妻雪子, 多田早苗, 中村供美, 古屋雅世, 佐藤直子, 石原美和. (2023.11.9) . 「地域一体型でできる ACP を目指した政策案の検討～国民が自分でどう生きるかを決定する支援体制を整える～」.第 54 回日本看護学会学術集会, 学会発表 (口頭発表) .
- 7) 宮田久美子, 藤井あゆみ, 舘林美加子, 高谷一枝, 石原美和, 佐藤直子. (2023.11.9) . 「看護職の配偶者控除額を引き上げ 人材確保するために—扶養範囲内で働くパート看護職の労働力を 最大限活用するための政策提言—」.第 54 回日本看護学会学術集会, 学会発表 (口頭発表) .

- 8) 石原美和, 川添高志, 大場紅莉, 大久保智代. (2023.11.19). 「看護がつなぐ医療と暮らし 訪問看護サービスへのアクセシビリティ向上のための政策研究」. 第 13 回日本在宅看護学会学術集会, 交流集会, 座長.
- 9) 渡邊千登世, 石原美和, 松永早苗, 中村由佳, 増田政江, 大場紅莉, 柴田三奈子. (2023.12.9). 「在宅看護サービスへのアクセシビリティ向上のための政策提言～アカデミアの果たす役割～」. 交流集会
- 10) 石原美和 (2023.12.9). 「医療・介護・福祉サービスにおける「看護事業所」の制度的位置づけに関する現状と課題」 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 交流集会. (口頭発表)
- 11) Tanaka Takami, Nishikanta Kumiko, Ishihara Miwa, Fujita Junko. (2024.3). 「Status of medical accident during the COVID-19 pandemic in Japan: Basic analysis based on secondary data」 International Society of Caring & Peace . (示説) .

8 学内教育活動

- 1) 保健福祉学部看護学科 2 年「看護関係法規」(4 コマ)
- 2) 保健福祉学部看護学科 4 年「看護管理学」(1 コマ)
- 3) 保健福祉学研究科 博士前期課程 保健福祉学専攻「看護開発特論」(13 コマ)
- 4) 保健福祉学研究科 博士前期課程 保健福祉学専攻「看護開発学演習」(15 コマ)
- 5) 保健福祉学研究科 博士前期課程 保健福祉学専攻「看護管理・政策学特論」(1 コマ)
- 6) 保健福祉学研究科 博士前期課程 論文指導 2 名
- 7) 認定看護管理者教育課程 ファーストレベル「ヘルスケアシステム論Ⅰ」(3 コマ)
- 8) 認定看護管理者教育課程 セカンドレベル「ヘルスケアシステム論Ⅱ」(1 コマ)
- 9) 認定看護管理者教育課程 サードレベル「ヘルスケアシステム論Ⅲ」(3 コマ)
- 10) 認定看護管理者教育課程 サードレベル「統合演習Ⅲ 政策提言」(10 コマ)
- 11) 認定看護管理者教育課程 看護コース「看護教育制度論」(2 コマ)

9 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員審査機関
- 2) 看護領域研究科委員会,
- 3) 看護領域研究科指導教員会,

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 石原美和 研究主幹. 「看護がつなぐ医療と暮らし 在宅看護サービスへのアクセシビリティ向上のための政策研究」. 東京財団政策研究所, 18,100 千円, 2022～2023 年度.
- 2) 松永早苗 研究代表者, 石原美和 研究分担者. 「感染症による偏見・差別をなくすヘルスリテラシー向上のための基礎的研究」. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 3,640 千円 (2023 年度 400 千円), 2022～2024 年度.
- 3) 「非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病患者の長期療養体制構築に関する患者参加型研究班」藤谷順子 研究代表者, 石原美和 研究分担者. 「分担者課題名: HIV/AIDS 患者の精神健康と認知された問題の変遷—25 年の縦断的研究—」. 厚生労働科学研究費補助金 23,000 千円 (2023 年度 1,800 千円), 2022～2023 年度.
- 4) 田中孝美 研究代表者, 石原美和 研究分担者, 「保健医療現場の動的な日常における患

者の転倒転落を回避するレジリエントな実践の解明」. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 4,030 千円 (2023 年度 200 千円) ,2021～2023 年度.

- 5) 石原美和 研究代表者, 「訪問看護ステーション等の地域における看護事業所の制度的基盤整備に関する研究」, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 4,860 千円, 2019～2023 年度.

12 受賞

- 1) 松永早苗, 黒木利恵, 石原美和. (2023.11) .令和 5 年度神奈川県保健福祉事務所等所長会表彰 神奈川公衆衛生協会「高齢者福祉施設等のスタッフが抱く感染対策への疑問」.

14 その他

- 1) 「Journal of Evidence-Based Medicine」. (2024.3) .査読.